

芦屋市交通バリアフリー
道路特定事業計画
(阪神芦屋駅・市役所周辺地区)

芦 屋 市

【目 次】

1	道路特定事業計画の作成にあたって	1
	（ 1 ）道路特定事業計画作成の趣旨	2
	（ 2 ）整備目標年次	2
	（ 3 ）整備の基本方針	2
	（ 4 ）事業の具体的整備内容	2
2	重点整備地区の区域及び生活関連経路	8
	（ 1 ）重点整備地区の区域及び生活関連経路	9
	（ 2 ）生活関連経路一覧表	10
3	生活関連経路の路線別事業計画	11

1 道路特定事業計画の策定にあたって

(1) 道路特定事業計画作成の趣旨

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」が制定されたことを受け、本市では平成19年4月に阪神芦屋駅・市役所周辺地区を重点整備地区とする「芦屋市交通バリアフリー基本構想」(以下、「基本構想」という)を策定しました。

この基本構想を受けて、法第31条の規定に基づき道路管理者が実施する道路のバリアフリー化事業を取りまとめ、道路特定事業計画を作成しました。

今後は、この事業計画に基づき、重点整備地区内の生活関連経路のバリアフリー化を進めていきます。

(2) 整備目標年次

整備目標年度は、平成22年度(2010年)を基本とし、整備を進めていきます。

(3) 整備の基本方針

本事業の実施にあたっては、「芦屋市交通バリアフリー基本構想」に沿って整備を行います。基本構想で設定された生活関連経路 については移動円滑化基準に基づく整備を行い、生活関連経路 については、地形的制約や沿道の市街化状況などにより移動円滑化基準に全て適合させることが困難であるものの、整備を進めるべき重要な路線として検討を行った上で、実施可能な整備をします。

(4) 事業の具体的整備内容

歩道舗装の改善

歩道舗装は原則として透水性舗装とし、平たんで滑りにくい舗装とします。なお、路線により景観に配慮した仕様とします。

歩道有効幅員の確保・拡幅

歩道の有効幅員は原則2.0m以上確保します。

《対策として考えられる整備内容》

- ・ 歩行者の通行部分にある街路樹や電柱など支障となるものの移設を行う。

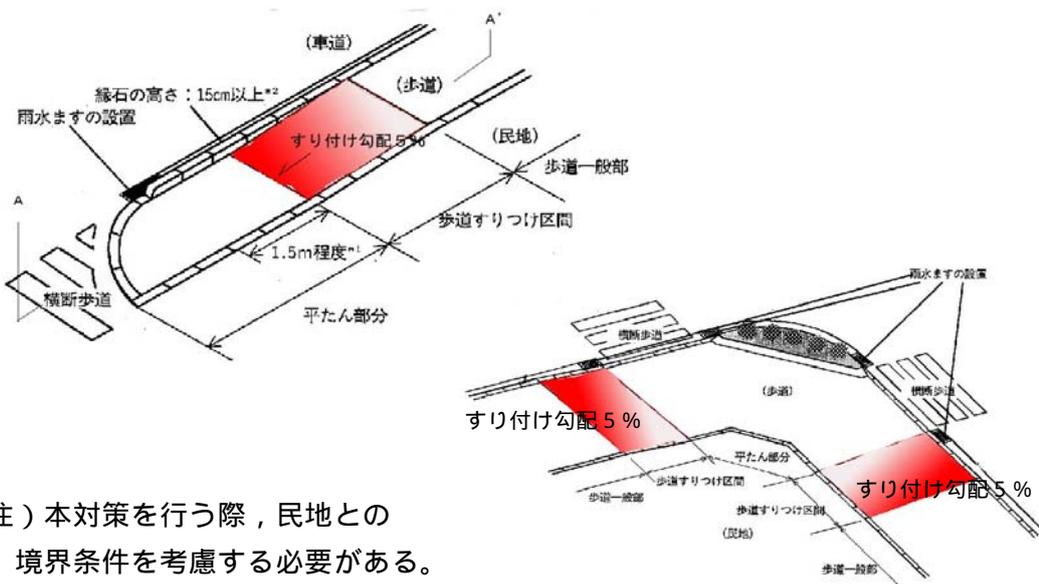
- ・ 側溝の蓋がけや暗渠化を行う。
- ・ 張出し歩道の設置や道路幅員構成の見直しを行う。

切下げ部すり付け勾配の改善

横断歩道への接続など歩道の端部の切下げ

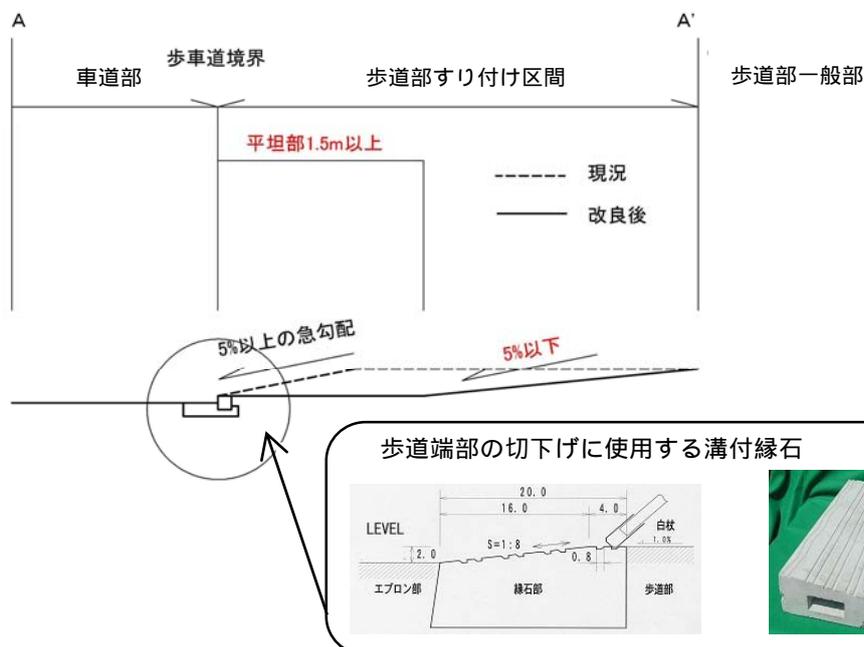
- ・ 平坦部を 1.5m 程度確保します。
- ・ すり付け勾配を 5% 以下（やむを得ない場合は 8% 以下）とします。
- ・ 歩車道境界ブロックは車道面と縁石前面の段差が 0cm で，車道面と歩道面の段差が 2cm である溝付縁石を使用します。

切下げ部平面イメージ図



注) 本対策を行う際，民地との境界条件を考慮する必要がある。

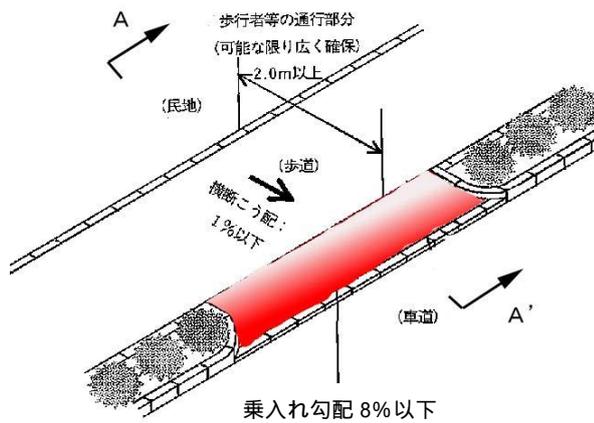
交差点縦断方向断面 (A A') イメージ図



乗入部の切下げ

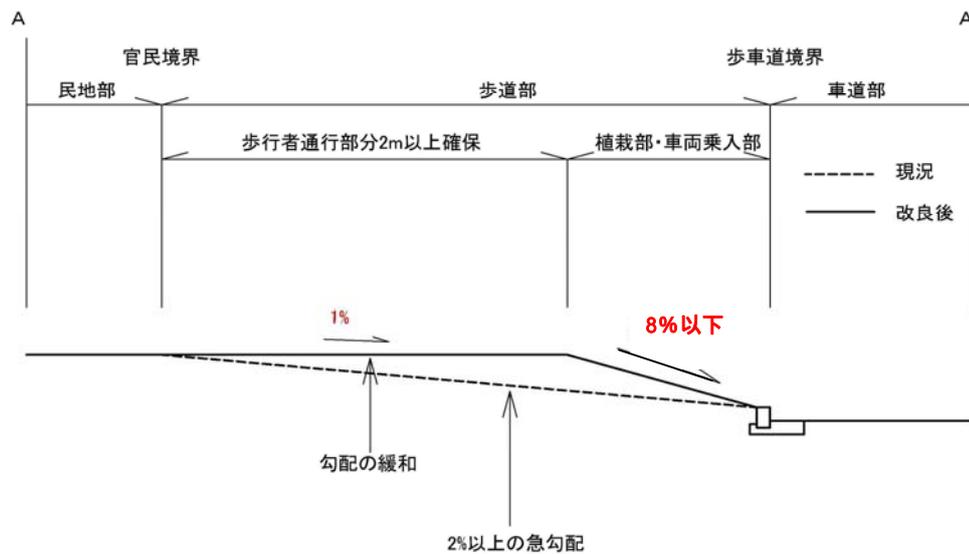
- ・ 歩行者等の縦断方向への通行部分（横断勾配 1%以下）を 2.0m 以上確保します。（やむを得ない場合は可能な限り広く確保します。）
- ・ 乗入れ勾配を 8%以下とします。

切下げ部平面イメージ図



注) 本対策を行う際、歩車道間の高低差を確保できるかを現況の勾配・歩道幅員から実施可能か判断します。

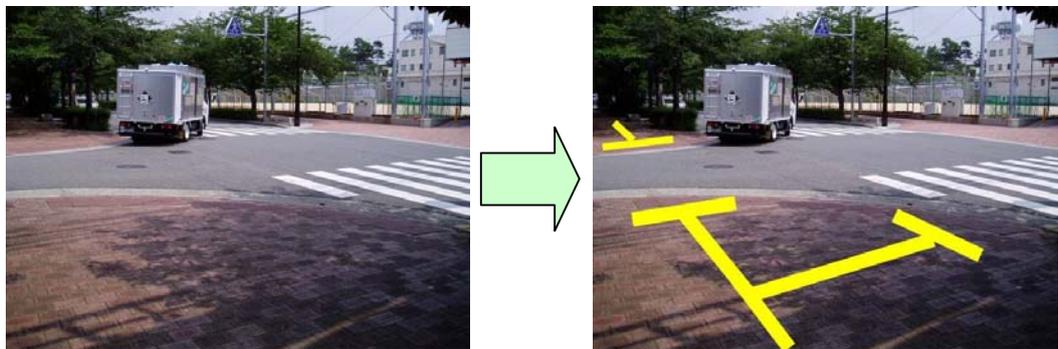
乗入れ部横断方向断面 (A A') イメージ図



視覚障害者誘導用ブロックの整備

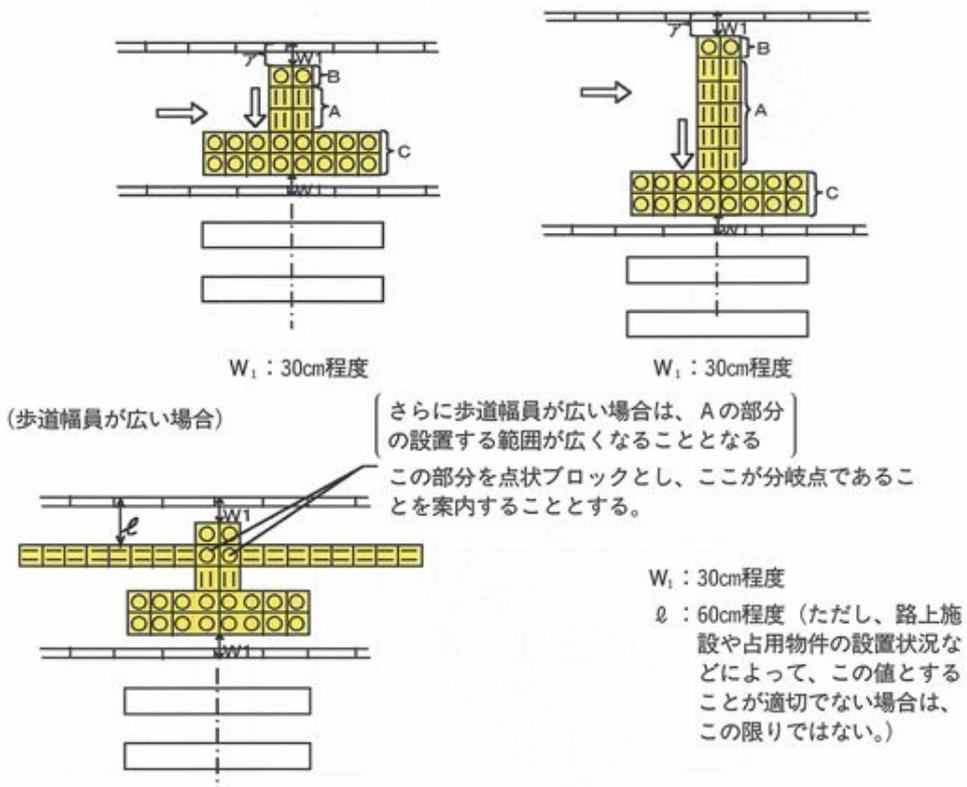
形状・寸法についてはJIS規格に合わせたものとします。色彩については黄色を基本とし、設置面との輝度比や明度差が確保できる色とします。設置については以下に示す **参考図 視覚障害者誘導用ブロックの設置例** を参考に設置します。

視覚障害者誘導用ブロックの整備イメージ図

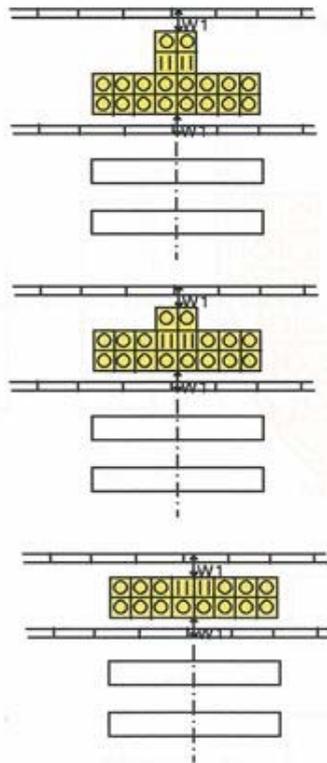


参考図 視覚障害者誘導用ブロックの設置例

【横断歩道口の設置例】



(継続的直線歩行を案内している場合)

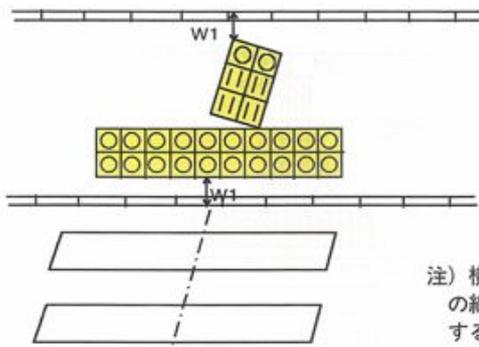


(歩道幅員が狭い場合)

W_1 : 30cm程度

注) 線状ブロックで、横断歩道上の歩行方向及び横断歩道の中心部を案内することが望ましい。

【やむを得ず横断歩道が斜めの場合の設置例】



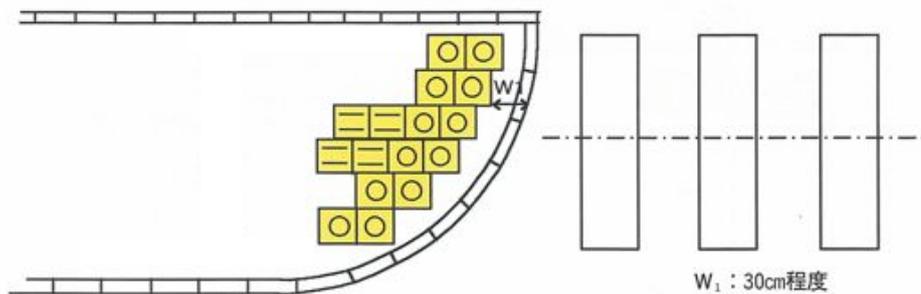
W_1 : 30cm程度

注) 視覚障害者は、視覚障害者誘導用ブロック及び緑石の配列と、横断歩道が垂直に交わるという認識により、横断歩道を横断するという意見があり、横断歩道が斜めの場合の対策を検討する必要がある。

注) 横断歩道の方向と線状ブロックの線状突起の方向とを同一方向にすることが望ましい。

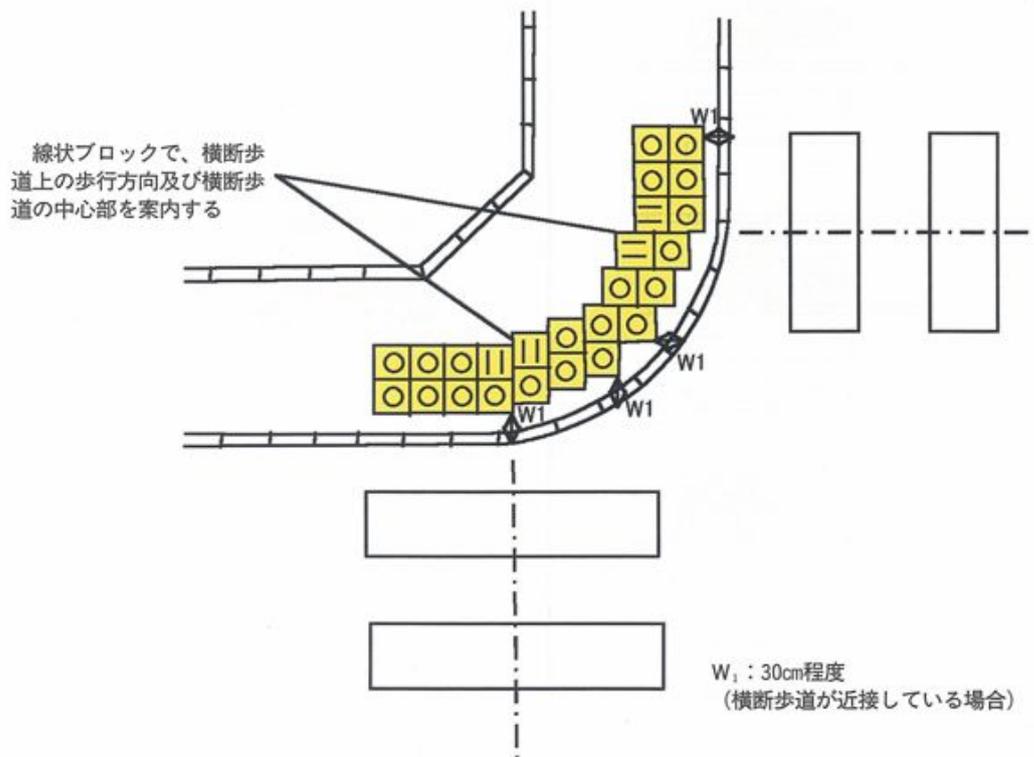
W_1

【歩道巻込部の設置例】



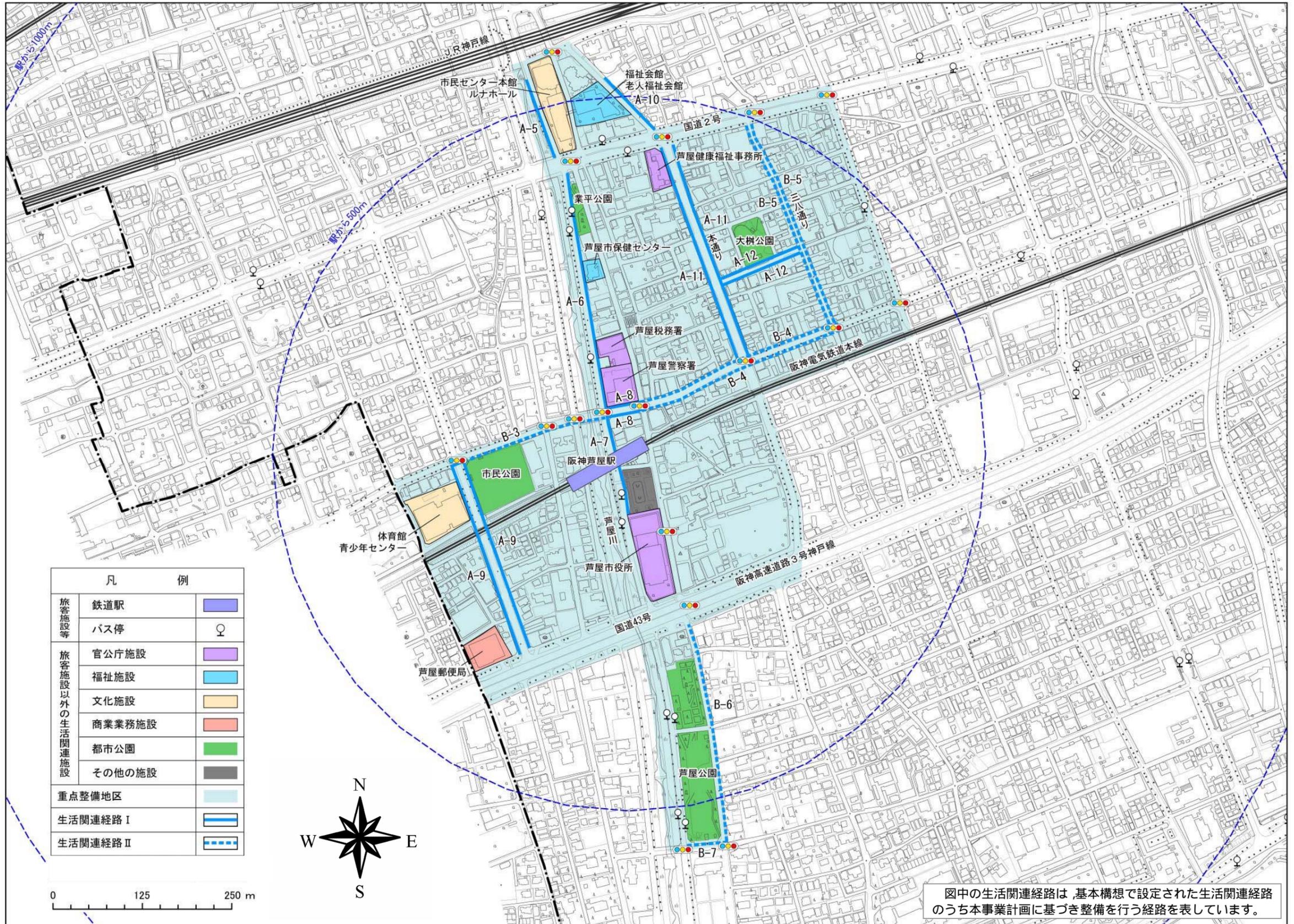
(歩道幅員が広い場合)

注) 横断歩道の有無に関わらず歩道巻き込み部には視覚障害者誘導用ブロックを設置する。



2 重点整備地区の区域及び生活関連経路

(1) 重点整備地区の区域及び生活関連経路



(2) 生活関連経路一覧表

区 分	番 号	路 線 名	区 間	延長(m)
生活関連 経路Ⅰ	A-5	市道 216 号線	市民センター本館・ルナホール ～業平橋東詰交差点	110
	A-6	市道 216 号線	業平橋東詰交差点～芦屋警察署	330
	A-7	市道 216 号線	芦屋警察署～芦屋市役所	140
	A-8	市道 338-1 号線	芦屋警察署前交差点 ～公光橋東詰交差点	40 (80)
	A-9	市道 229 号線	青少年センター前交差点 ～芦屋郵便局	280 (560)
	A-10	市道 210 号線	福祉会館・老人福祉会館 ～本通北交差点	100
	A-11	市道 210 号線	本通り	320 (640)
	A-12	市道 200 号線	三八通り～本通り	120 (240)
生活関連 経路Ⅱ	B-3	市道 338-1 号線	青少年センター前交差点 ～公光橋東詰交差点	200
	B-4	市道 338-1 号線	芦屋警察署前交差点～三八通り	280 (560)
	B-5	市道 196 号線	三八通り	300 (600)
	B-6	市道 215 号線	精道交差点～ 芦屋公園(テニスコート)北東交差点	310
	B-7	市道 312 号線	芦屋公園(テニスコート)北東交差点 ～鶴塚橋東詰交差点	40

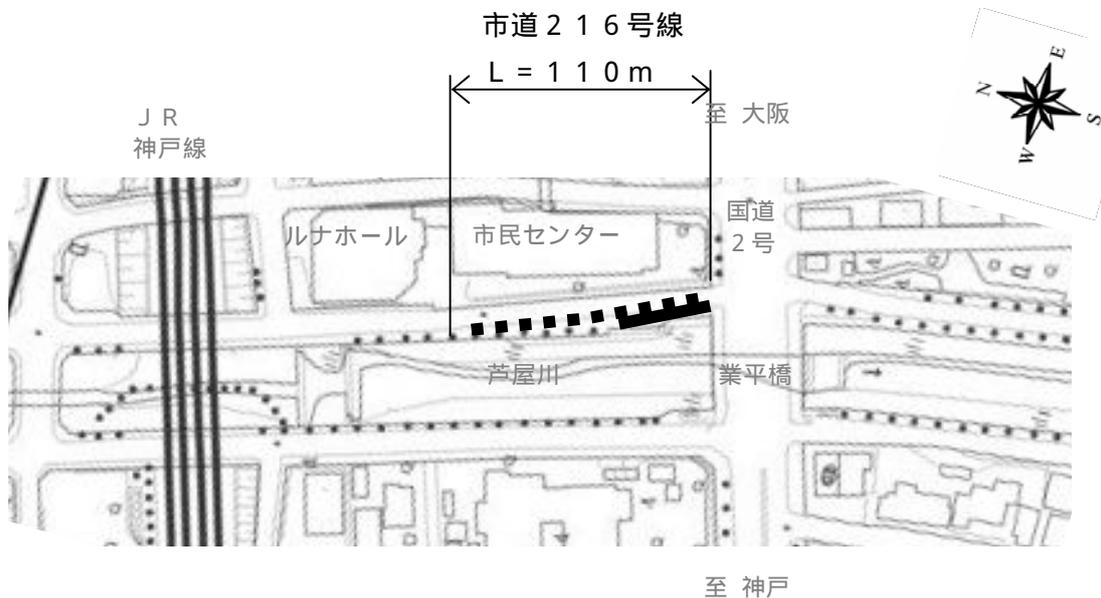
延長の()内数値は整備総延長を表す

3 生活関連経路の路線別事業計画

本事業計画は、現時点での整備事業計画を定めたものであり、今後の各事業の進捗状況や社会情勢の変化等により、変更されることがあります。

路線番号・路線名	A - 5 市道216号線	管理者	芦屋市		
事業区間	市民センター本館・ルナホール ～業平橋東詰交差点	延長	110m		
事業内容・実施予定期間	事業内容	事業量	実施予定期間		
			20年度	21年度	22年度
	スロープの拡幅・勾配の改善	約30m	■		
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約110m	■		
事業実施に際し配慮すべき重要事項					

事業計画図

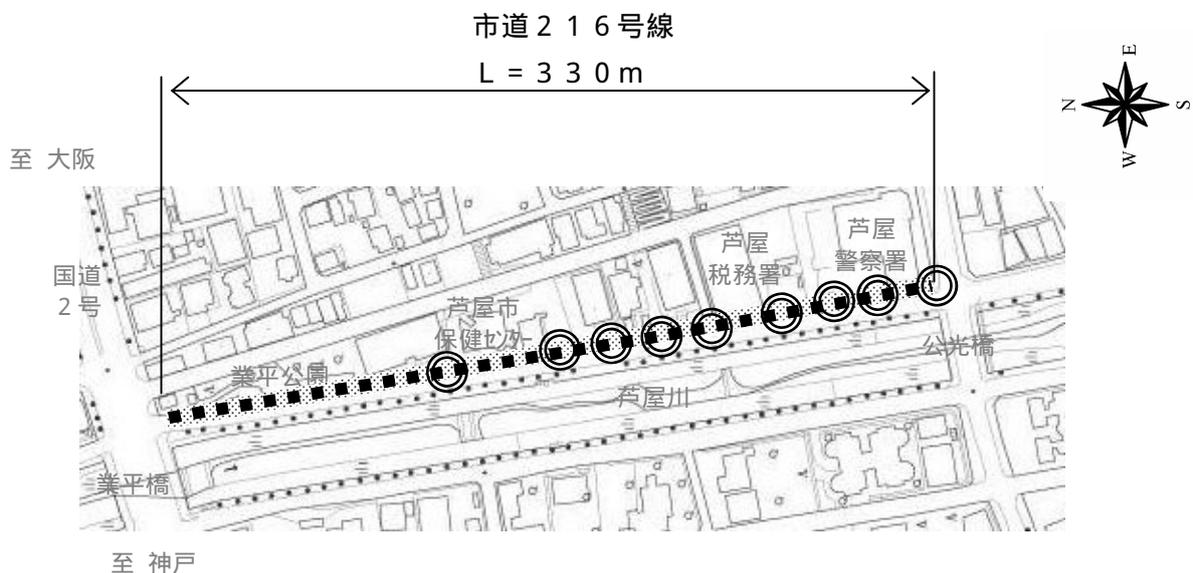


凡例

■	スロープの拡幅・勾配改善
■■■■	視覚障害者誘導用ブロック設置

路線番号・路線名	A - 6 市道216号線	管理者	芦屋市		
事業区間	業平橋東詰交差点～芦屋警察署	延長	330m		
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間		
	事業内容		20年度	21年度	22年度
	景観に配慮した歩道舗装	約650㎡		■	
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約330m		■	
	松の木の移植による有効幅員の確保	約330m		■	
	切下げ部すり付け勾配の修正	9箇所		○	
事業実施に際し配慮すべき重要事項					
歩行者の通行部分にある松の移植および、側溝の蓋がけまたは暗渠化を行い歩道有効幅員を確保する。					

事業計画図



凡例

■ ■ ■ ■ ■	歩道舗装
■ ■ ■ ■ ■	視覚障害者誘導用ブロック設置
○	切下げ部の修正

路線番号・路線名	A - 7 市道216号線	管理者	芦屋市	
事業区間	芦屋警察署～芦屋市役所	延長	140m	
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間	
	事業内容		20年度	21年度
	歩道の波打ち改善（歩道舗装）	約140m		■■■■
	切下げ部すり付け勾配の修正	2箇所		○
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約140m		■■■■
事業実施に際し配慮すべき重要事項		事業区間の一部において道路幅員構成の見直しを行い、歩道有効幅員の拡幅を行う。 また、障害者用停車施設の設置を検討する。		

事業計画図

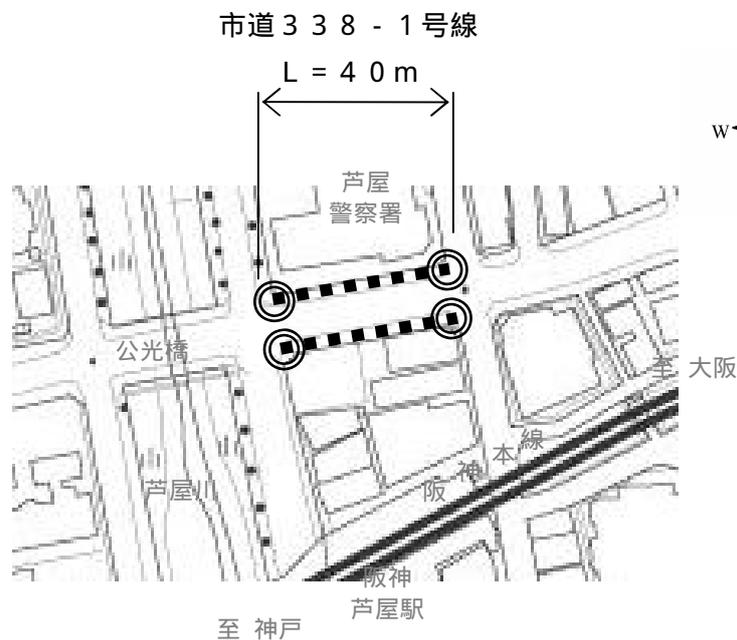


凡例

■■■■	歩道舗装
■■■■	視覚障害者誘導用ブロック設置
○	切下げ部の修正

路線番号・路線名	A - 8 市道338 - 1号線	管理者	芦屋市		
事業区間	芦屋警察署前交差点 ～ 公光橋東詰交差点	延長	40 m		
事業内容・実施予定期間	事業内容	事業量	実施予定期間		
			20年度	21年度	22年度
	切下げ部すり付け勾配の修正	4箇所	■		
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約80 m	■		
事業実施に際し配慮すべき重要事項					

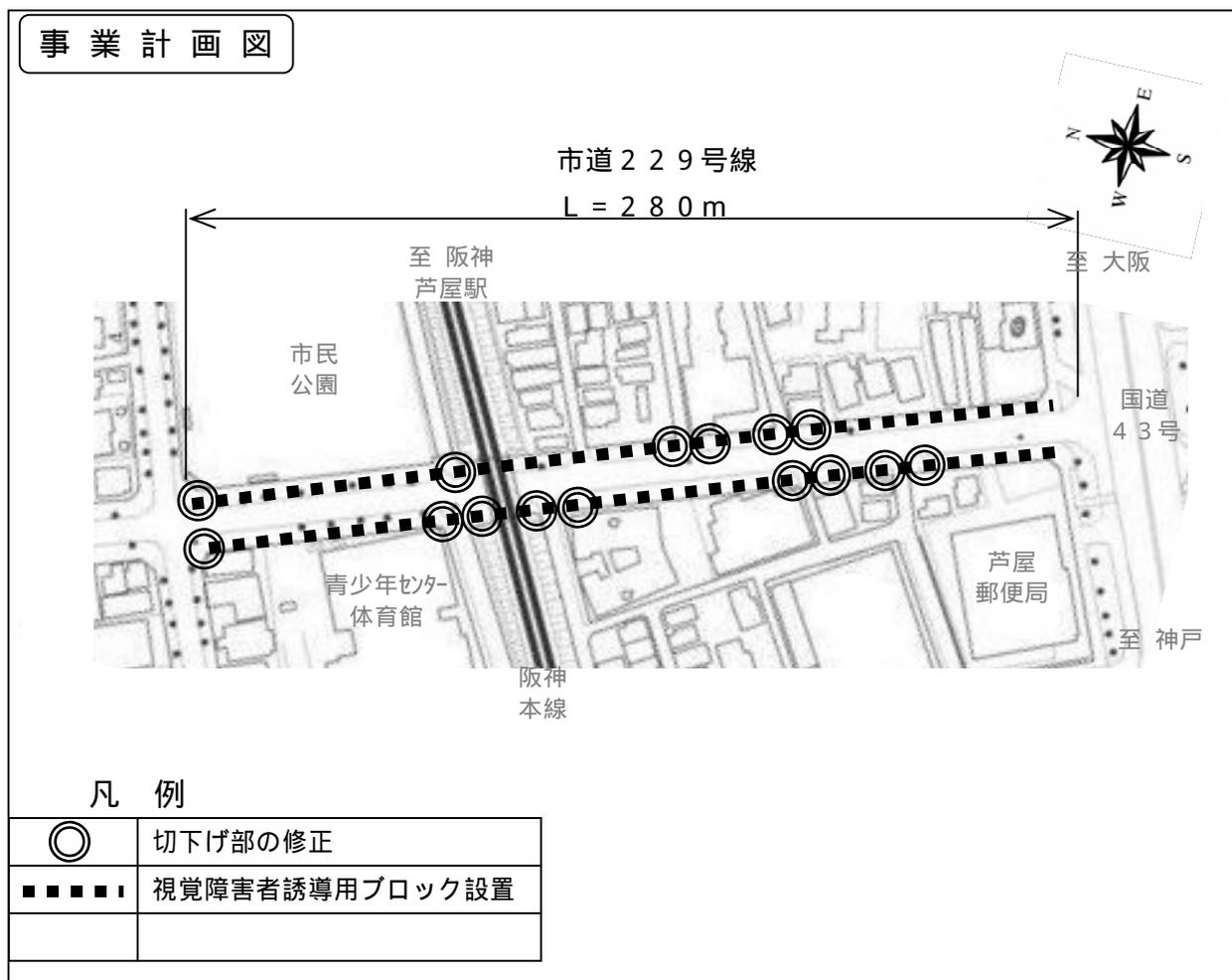
事業計画図



凡例

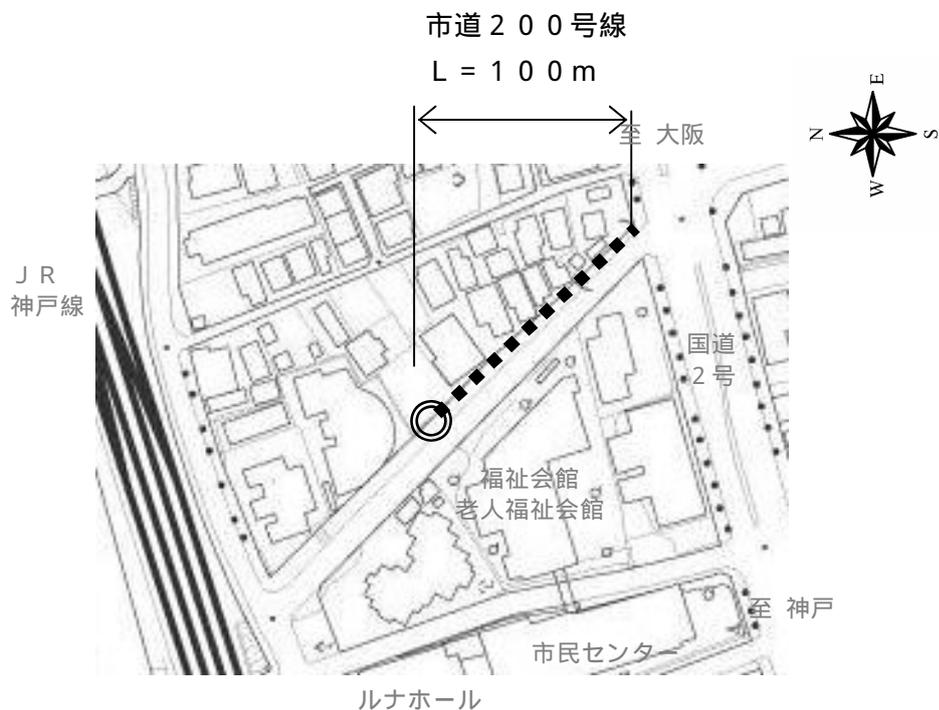
○	切下げ部の修正
■	視覚障害者誘導用ブロック設置

路線番号・路線名	A - 9 市道229号線	管理者	芦屋市		
事業区間	青少年センター前交差点 ～ 芦屋郵便局	延長	280 m		
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間		
	事業内容		20年度	21年度	22年度
	切下げ部すり付け勾配の修正	15箇所	■		
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約560 m	■		
事業実施に際し配慮すべき重要事項					
側溝の蓋がけを検討する。					



路線番号・路線名	A - 10 市道210号線	管理者	芦屋市	
事業区間	福祉会館・老人福祉会館～本通北交差点	延長	100m	
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間	
	事業内容		20年度	21年度
	歩道の切下げ	1箇所	■	
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約100m	■	
事業実施に際し配慮すべき重要事項				
		道路幅員構成の見直しを行い，西側歩道有効幅員の拡幅を検討する。		

事業計画図

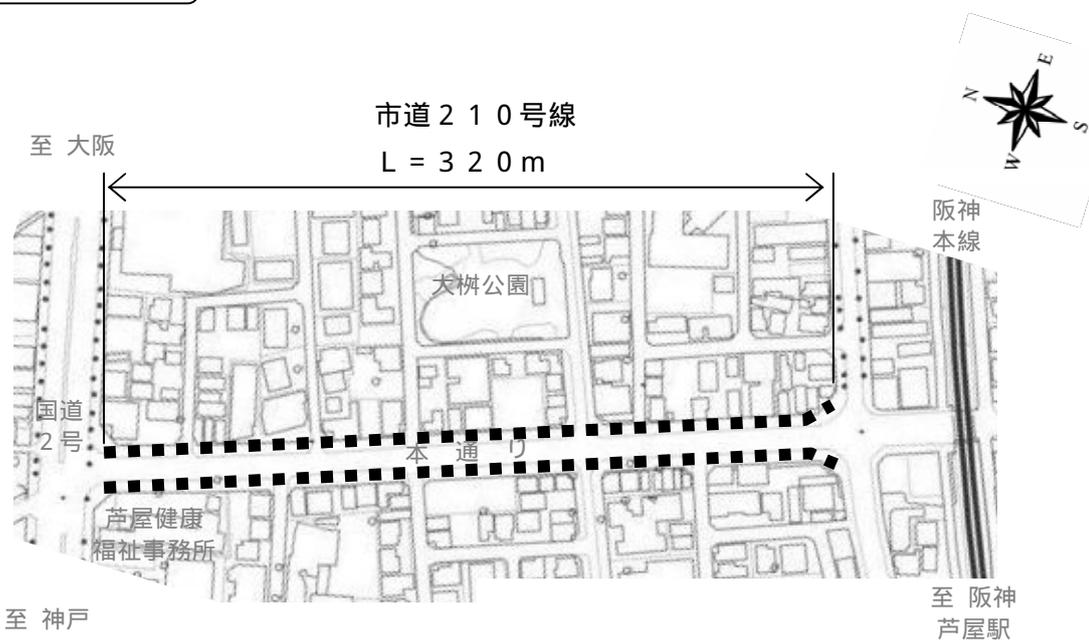


凡例

◎	歩道の切下げ
■■■■	視覚障害者誘導用ブロック設置

路線番号・路線名	A - 11 市道210号線	管理者	芦屋市		
事業区間	本通り	延長	320m		
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間		
	事業内容		20年度	21年度	22年度
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約640m			
事業実施に際し配慮すべき重要事項					

事業計画図



凡例

■■■■■	視覚障害者誘導用ブロック設置

路線番号・路線名	A - 12 市道200号線	管理者	芦屋市		
事業区間	三八通り～本通り	延長	120m		
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間		
事業内容			20年度	21年度	22年度
視覚障害者誘導用ブロックの設置	約240m				
事業実施に際し配慮すべき重要事項					

事業計画図

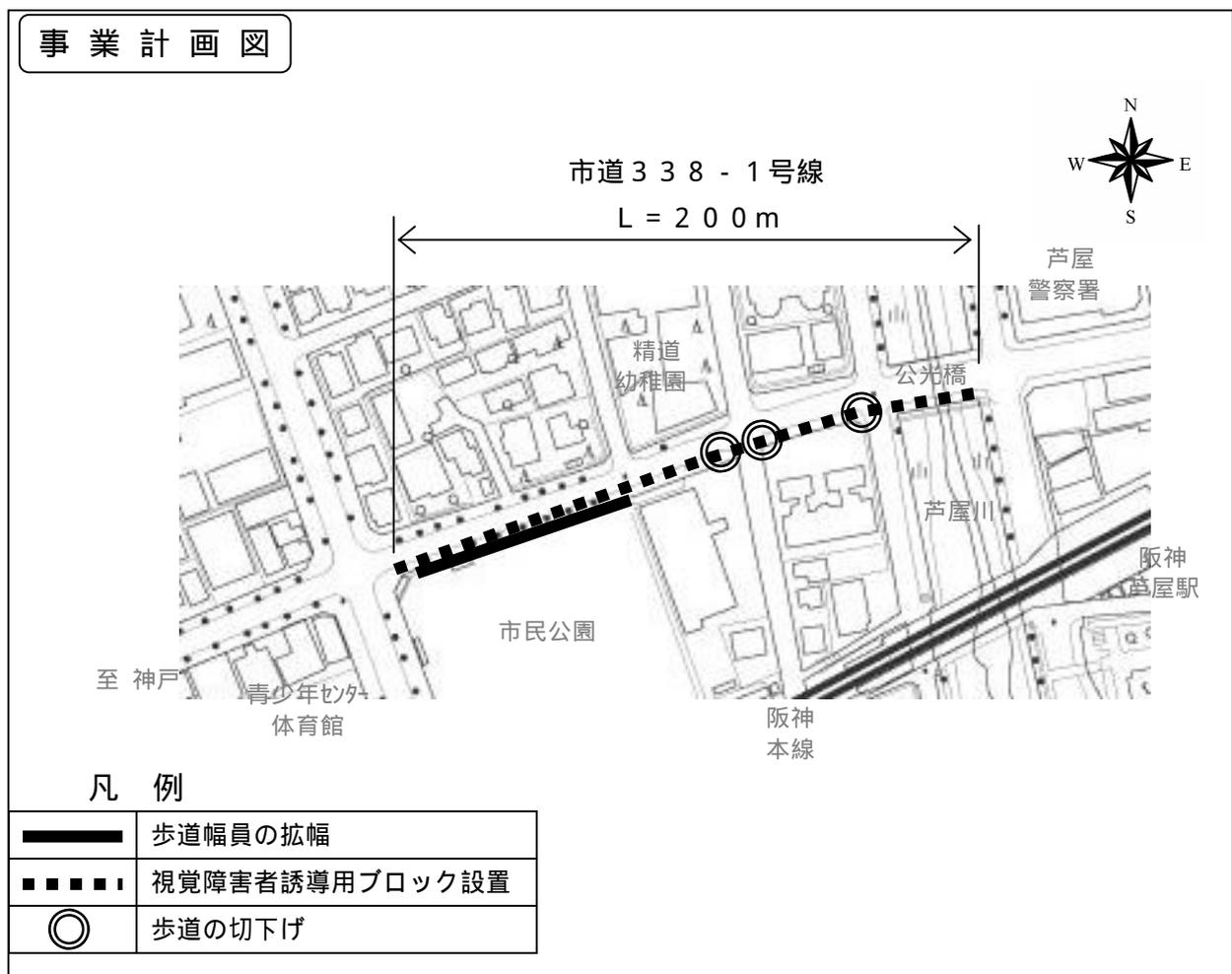


凡例

■■■■■	視覚障害者誘導用ブロック設置

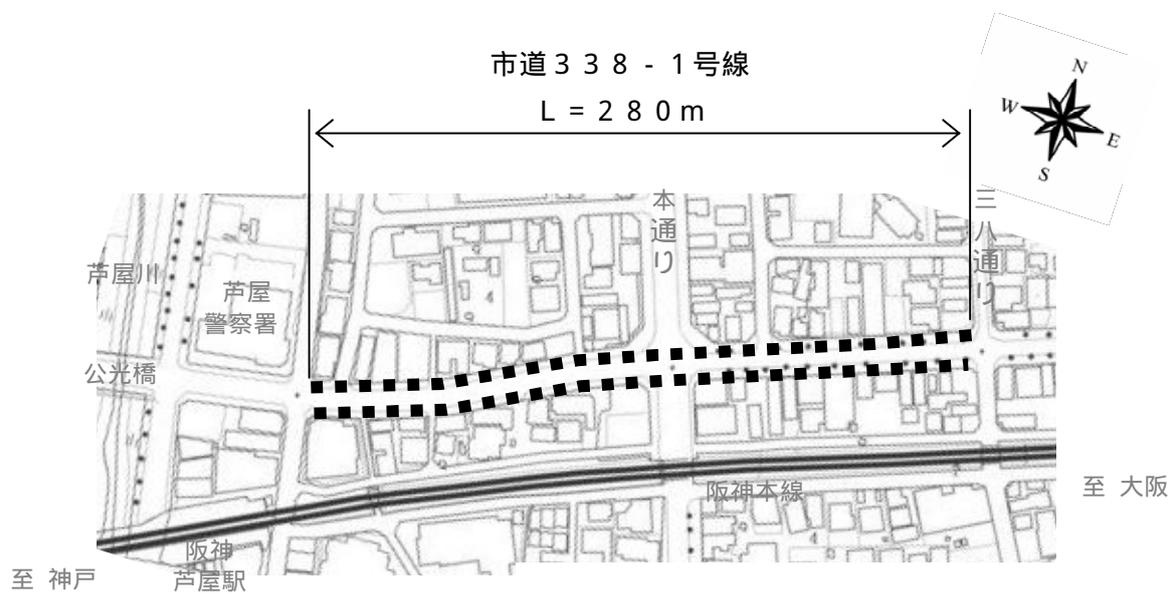
路線番号・路線名	B - 3 市道338 - 1号線	管理者	芦屋市		
事業区間	青少年センター前交差点 ～ 公光橋東詰交差点	延長	200m		
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間		
	事業内容		20年度	21年度	22年度
	歩道幅員の拡幅（張出し歩道）	約75m		■■■■	
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約200m		■■■■	
	切下げ部すり付け勾配の修正	3箇所		○	
事業実施に際し配慮すべき重要事項					
坂道区間での休憩スペースの設置を検討する。					

事業計画図



路線番号・路線名	B - 4 市道338 - 1号線	管理者	芦屋市		
事業区間	芦屋警察署前交差点～三八通り	延長	280 m		
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間		
事業内容			20年度	21年度	22年度
視覚障害者誘導用ブロックの設置	約560 m				
事業実施に際し配慮すべき重要事項					

事業計画図

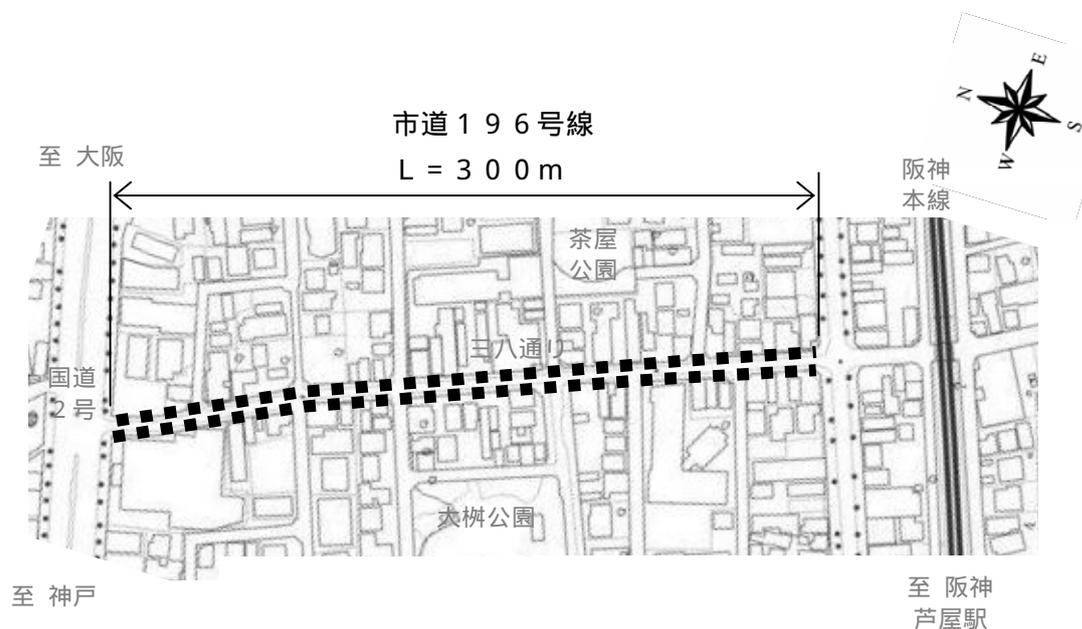


凡例

■■■■	視覚障害者誘導用ブロック設置

路線番号・路線名	B - 5 市道196号線	管理者	芦屋市		
事業区間	三八通り	延長	300m		
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間		
事業内容			20年度	21年度	22年度
視覚障害者誘導用ブロックの設置		約600m			
事業実施に際し配慮すべき重要事項					

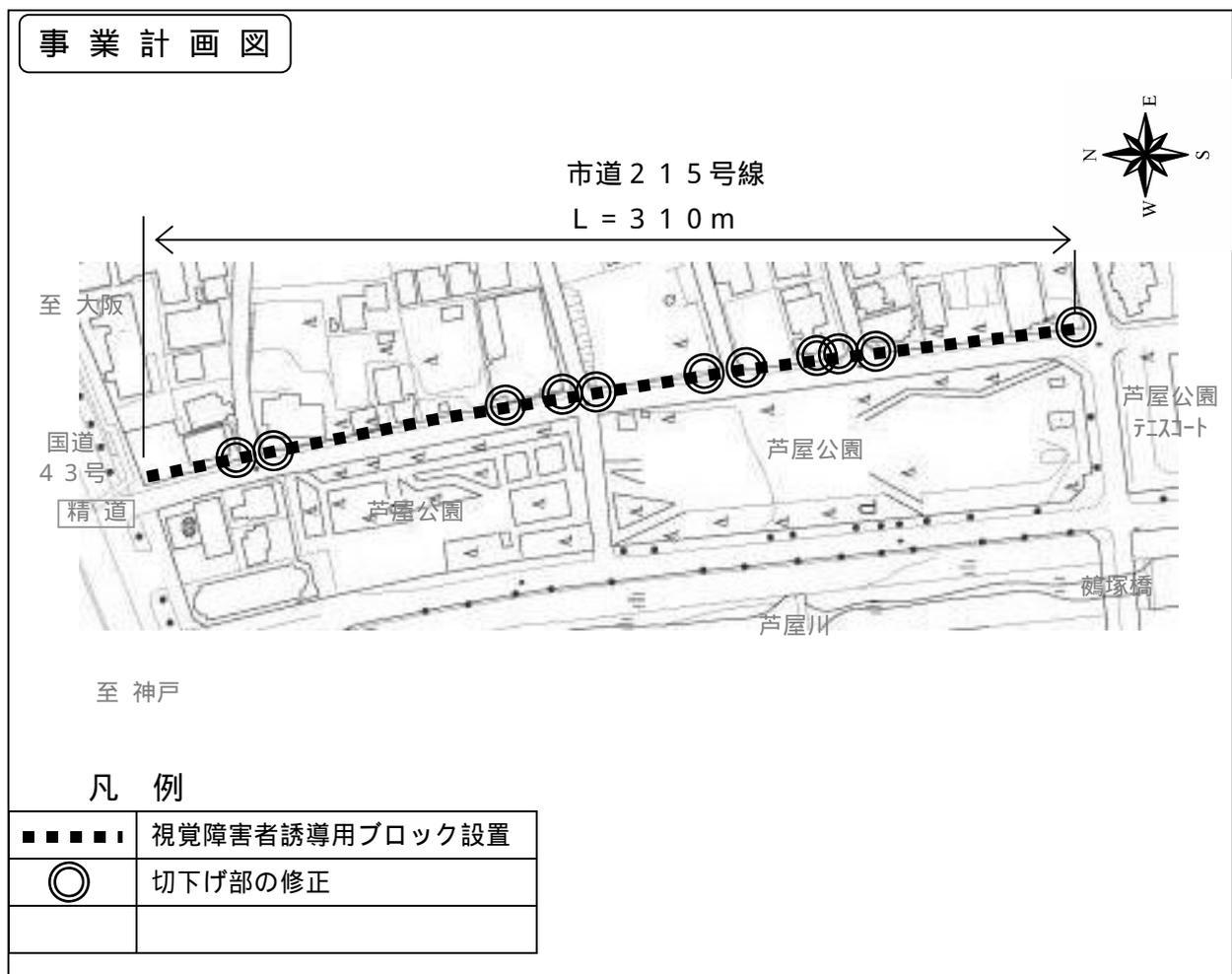
事業計画図



凡例

■■■■■	視覚障害者誘導用ブロック設置

路線番号・路線名	B - 6 市道215号線	管理者	芦屋市		
事業区間	国道43号 精道交差点 ～ 芦屋公園(テニスコート)北東交差点	延長	310m		
事業内容・実施予定期間		事業量	実施予定期間		
	事業内容		20年度	21年度	22年度
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約310m		■	
	切下げ部すり付け勾配の修正	11箇所		■	
事業実施に際し配慮すべき重要事項					
		有効幅員を確保するため、歩道上の電柱の移設が可能か検討する。			



路線番号・路線名	B - 7 市道312号線	管理者	芦屋市		
事業区間	芦屋公園(テニスコート)北東交差点 ～ 鶴塚橋東詰交差点	延長	40m		
事業内容・実施予定期間	事業内容	事業量	実施予定期間		
			20年度	21年度	22年度
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	約40m			
	切下げ部すり付け勾配の修正	2箇所			
事業実施に際し配慮すべき重要事項					

事業計画図



凡例

■■■■■	視覚障害者誘導用ブロック設置
◎	切下げ部の修正